様式第２号

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵で、貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満及び貯槽による貯蔵で、貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のときに添付）

１．保安距離	①第１種保安距離（法定16.97m・障壁設置 0m）　実際 36.5 m 保安物件の名称 ○○○病院 ②第２種保安距離（法定11.31m・障壁設置 0m）　実際 8.0 m 保安物件の名称 民家
２．障壁	①障壁の構造　材料 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 寸法（高さ）200 cm（厚さ）15 cm ②扉の構造　材料 鋼板 （厚さ） 3.2 cm ③扉の補強　等辺山形鋼(枠) 40 mm× 40 mm (内) 30 mm× 30 mm 間隔 (縦) 38 cm (横) 33 cm
３．火気等との距離	①火気等の種類 エアコン室外機 火気等との距離 18.5 m ②火気距離が５m未満　障壁（材料） － (高さ) － m
４．滞留防止	①貯蔵設備面積 21.0 ㎡　法定換気口面積 6,300 ㎠ ②実際の換気口面積 12,000 ㎠
５．さく､へい等の設置	①さく、へい等の種類 貯蔵設備の建屋と兼ねる
６．警戒標	①掲示位置 貯蔵設備入口及び側面 ②表示内容 LPG貯蔵設備、火気厳禁、無断立入禁止
７．消火設備	①粉末消火器　A 5 B 12 × 3 個 ②その他
８．軽量な屋根等	①屋根の場合その材料 繊維強化セメント板 ②遮へい板の場合その材料
９．転倒防止等の措置	①貯蔵設備の床は水平で、かつ上から物が落ちる恐れがないようにする。 ②転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。
10．腐食防止措置	①容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。 ②貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。